

3.10

ソーシャルイノベーションユニット

ユニット長（兼務） 矢野 博之

■概要

ソーシャルイノベーションユニットは、研究開発成果の最大化を図るオープンイノベーション推進本部において、実践的研究開発活動の具体化とともに成果の拡大と深化を目指す。そのため、研究センター等においてそれぞれが研究開発成果の普及や社会実装を目指しながら実践的な研究開発を進めるとともに、戦略的プログラムオフィスが司令塔として戦略の立案と推進、地域連携と産学官連携の促進を図る。

■主な記事

ソーシャルイノベーションユニットは、世界最先端のICTを実現して社会全体のICT化をもたらす「ソーシャルICT革命」を実現することを目指す体制として、オープンイノベーション推進本部内に設置されている。司令塔役を果たす3.10.1戦略的プログラムオフィスで、重点的または迅速に進めることが必要な課題の企画と推進を行うとともに、NICT内や国内外の様々な活動の有機的連携を戦略的に立案し実行することが主な任務である。

一方、社会に直結するテーマに取り組む研究開発推進センター（2か所）、センター（2か所）、研究センター（3か所）では、具体的課題に対してタイムリーかつスピーディーに実践的な研究開発等を実施する。

3.10.2総合テストベッド研究開発推進センターでは、エミュレーションから実基盤までのテストベッドを構築・運営し、産学官連携の下で様々なプレイヤーの方々が最先端のICTを試験的に利用して技術実証や社会実証を行う環境としてのテストベッドの充実を図る。

3.10.3ナショナルサイバートレーニングセンターは、NICTが有するサイバーセキュリティの技術的知見等を最大限に活かした実践的なサイバー防御演習CYDER（サ

イダー）及びサイバーコロッセオ、セキュリティイノベーター育成のためのSecHack365を実施しつつ、これらに関する研究・開発を行っている。

3.10.4ナショナルサイバーオブザベーションセンターは、NICTの技術的知見を活用して、パスワード設定等に不備のあるIoT機器の調査及び電気通信事業者への情報提供に関する業務を実施するために、平成30年度に新たに設置した組織である。

3.10.5知能科学融合研究開発推進センターは、NICTが培ってきたデータ等を活用した産学官が利用しやすい形での研究開発環境の整備を含め、知能科学領域におけるオープンイノベーション型の戦略的な研究開発を推進する拠点である。

3.10.6耐災害ICT研究センターは、災害に強いICT技術や災害時に役立つICT技術といった社会的な要請の強いテーマに取り組み、研究開発成果を活用した実証実験を実施し、成果の社会実装の促進を図っている。

3.10.7統合ビッグデータ研究センターは、センサー等のIoT機器から得られたデータを横断的・統合的に分析することによって、高度な状況認識や行動支援を可能にする技術を研究開発している。

3.10.8テラヘルツ研究センターは、これまで電磁波の発生及び検出が困難であった新たな周波数であるテラヘルツ帯を有効利用するための研究開発と利用促進のための標準化を推進している。

このように、戦略的プログラムオフィスにおける戦略的な活動と、研究開発推進センター、センター、研究センターにおける実践的な研究開発活動等とを有機的に連携させることにより、一体的に新たな価値が創造されることを目指す。